

表1. 2018/2019シーズン 抗インフルエンザ薬耐性株検出情報

最終更新日: 2019/05/07

	A(H1N1)pdm09						A(H3N2)						B					
	エンドヌクレアーゼ阻害薬		ノイラミニダーゼ阻害薬				エンドヌクレアーゼ阻害薬		ノイラミニダーゼ阻害薬				エンドヌクレアーゼ阻害薬		ノイラミニダーゼ阻害薬			
	パロキサビル	オセルタミビル	ペラミビル	ザナミビル	ラニナミビル	アマンタジン	パロキサビル	オセルタミビル	ペラミビル	ザナミビル	ラニナミビル	アマンタジン	パロキサビル	オセルタミビル	ペラミビル	ザナミビル	ラニナミビル	
耐性株数 (%)	5 ^a (1.8%)	11 ^b (0.6%)	11 ^b (0.6%)	0	0	164 (100%)	28 ^c (10.1%)	0	0	0	0	131 (100%)	0	0	0	0	0	
解析株数	277	1,708	1,708	280	280	164	277	195	195	195	195	131	31	27	27	27	27	
分離・検出報告数						2,659						3,663						148

エンドヌクレアーゼ阻害薬はFocus reduction assayおよびPA遺伝子シーケンス法により解析された。すべての耐性変異株は、I38T/M/F耐性変異をもっていた。

ノイラミニダーゼ阻害薬はMUNANA基質を用いる蛍光法、NA-XTD基質を用いる化学発光法、real time RT-PCR allelic discrimination法およびNA遺伝子シーケンス法により解析された。

M2阻害薬はM2遺伝子シーケンス法により解析された。すべての耐性変異株は、S31N耐性変異をもっていた。

^a うち薬剤未投与例 0、薬剤投与例 5

^b うち薬剤未投与例 1、薬剤投与例 10

^c うち薬剤未投与例 3、薬剤投与例 25

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/flu-m/flu-iasrs/8664-470p01.html>